

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	本学のSDGs活動の推進				
研究組織	代表者	所属・職名	食品栄養科学部・教授 (SDGs ｲﾝｼﾞｱﾃｲﾌﾞ 推進委員長)	氏名	谷 晃
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・講師 (SDGs ｲﾝｼﾞｱﾃｲﾌﾞ 運営委員)	氏名	宮崎 晋生
		所属・職名	食品栄養科学部・助教 (SDGs ｲﾝｼﾞｱﾃｲﾌﾞ 運営委員)	氏名	唐木 晋一郎
		所属・職名	食品栄養科学部・講師 (SDGs ｲﾝｼﾞｱﾃｲﾌﾞ 運営委員)	氏名	串田 修
	発表者	所属・職名	食品栄養科学部・教授 (SDGs ｲﾝｼﾞｱﾃｲﾌﾞ 推進委員長)	氏名	谷 晃

講演題目	本学のSDGs活動の推進
------	--------------

研究の目的、成果及び今後の展望

令和4年度は以下の活動を実施した。

項目	令和4年度計画	令和4年度実績
高等学校連携	県内高等学校のSDGs教育への協力(依頼に基づき、教員やTAとして大学院生などを派遣)	静岡東高校は近藤教授と谷、富士東高校は谷が担当し、訪問指導する学生を6月後半から募集。2022年度の高校での指導回数は計18回(各9回)、教員の派遣は18名、延べ24名。県大生による高校での訪問指導は19名、延べ106名(いずれも暫定数)。高校からのフィードバックは資料2参照。(近藤、谷)
広報	SDGsホームページの充実	現地見学会を追加。学生の活動、附置研究所の活動、高校連携など引き続き掲載。HPのデザイン改良(串田)
広報	本学のSDGsの取り組みを紹介するパネルの更新	更新作業中。草薙キャンパス5枚、小鹿キャンパスでは看護学部・短大部の活動を紹介するパネル1枚を加え、計6枚を掲示予定(鈴木)
教育	SDGsに関する本学学生への教育機会の増加策の検討	新たに開講した「SDGs概論」については、履修上限人数の150名が履修した。(串田、谷)
学生団体支援	サークル・学生の活動および教職員の活動の中でSDGsに関係する活動を、本学SDGsのホームページで紹介するための原稿収集	3団体を追加し、計12団体を掲載(唐木)
学生団体支援	SDGsに係わるサークル・学生活動への物的支援制度の設立	運営内規「静岡県立大学 SDGs活動に関する学生団体への支援取扱要領」を定め、12月に公募開始。1月末の締め切りまでに2団体が申請。現在対応中(小島、唐木、谷)
全学的活動推進	SDGsサロンにてSDGs活動について意見交換	2回開催(宮崎)。「SDGsこぼれ話」(酒井副学長)、「SDGs見学会報告会」
全学的活動推進	全学のFD活動として、1～2回の講演会を実施	男女共同参画センターとの共催でFD講演会「多様な性・生き方を尊重する社会の中で」を開催。(鈴木)
職員の活動推進	大学運営ワーキンググループ(既設)による活動「樹木を守り経費を抑えるSDGsスマート事務宣言」の推進	左記事業の継続、現地見学会への参加などによる職員の啓発
附置センターとの連携	附置センターのSDGs活動のHPでの紹介	残っていた経営情報学部、薬学部の原稿を収集、HPにて紹介済み。12の附置センターを既掲載。(串田、谷)
地域貢献	県や市町と連携したSDGs活動の推進	静岡市、藤枝市のSDGs関係の講演会へ講師を派遣。地域活動への協力(富士市、静岡鉄道(小山、事務局、宮崎、唐木、谷))
全学的活動推進	SDGs見学会の開催。県内で重要な環境問題や持続可能農業実践地の現地見学会(orフィールドワーク)を実施する。令和3年度はコロナ禍で進められなかったが、今年度は本格実施したい。	9月に現地見学会を4回(参加者49人)、10月に全体報告会を1回開催した。コロナ禍で参加人数を制限したが、研修として職員も12名(延べ人数)参加し、全学的な取り組みとして行えた。SDGsのHPIに活動報告記事を掲載した。(小泉、斎藤、宮崎、谷)
その他	SDGsに係わるシンポジウム開催など対外的な活動を推進	開催せず。グローバル地域研究センターとの共催を進めたが、諸事情により開催見送り。(谷)
その他	SDGs窓口(設置済)やその他窓口を通して講師の派遣など地域活動への協力を受け付け	企業からの講演依頼や相談、市町からの依頼に対応(小山、宮崎)

令和5年度も引き続き同様の活動を行い、SDGsに関する全学的な取り組みおよび地域貢献活動を実践する。